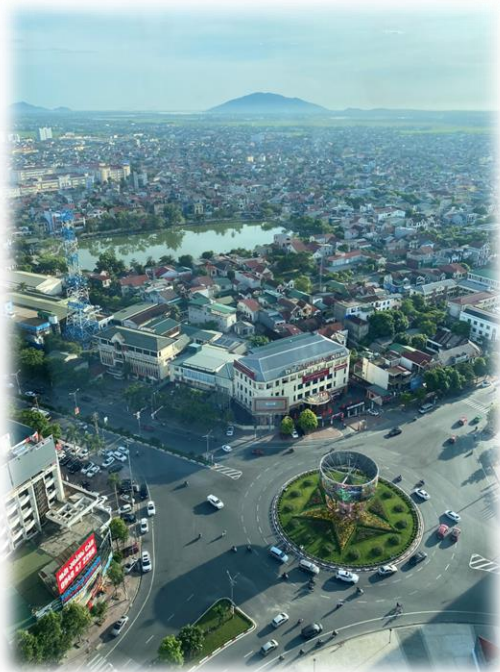


2023年9月6日（水）

※所属する団体の見解ではなく、個人の見解です

発表③「人材育成」 ～ベトナムの若者が求めるものは？

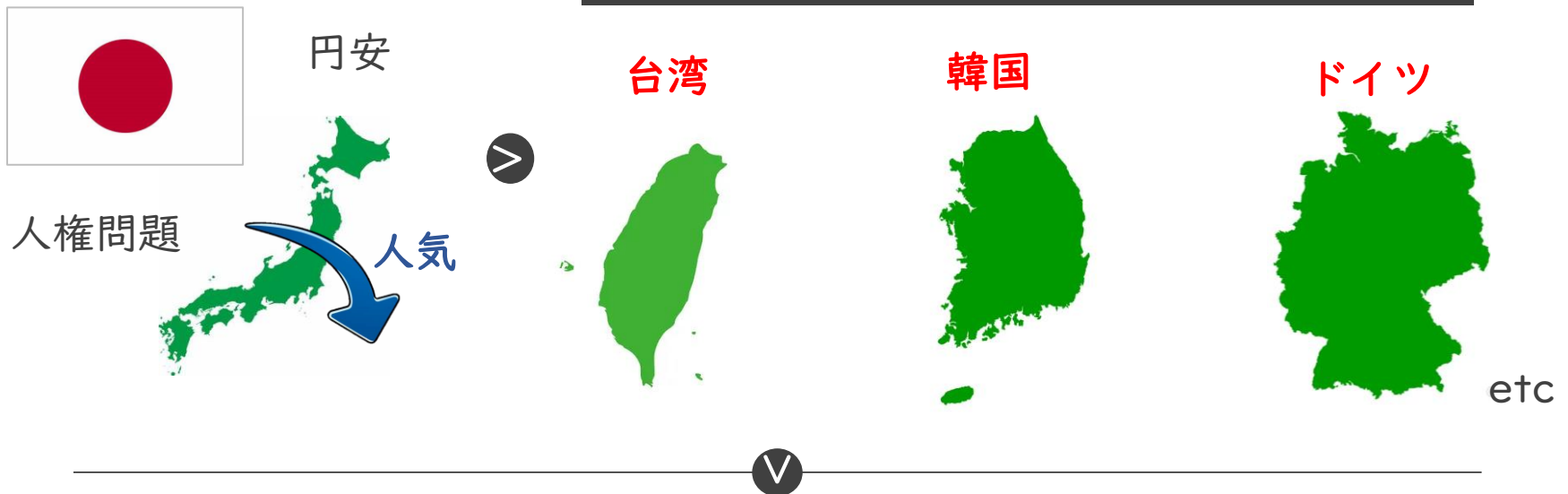


(一社) 日本経済団体連合会
産業政策本部 清水 優作

ベトナム労働派遣のトレンド

- 経済発展が著しい都心部では応募者募集に苦心している一方、地方部では求人が少なく、引き続き海外への送り出し圧力は高い
- また、精密機械産業や繊維産業等の業績不振によって、失業者増加が懸念されており、海外労働派遣への需要は引き続き存在すると予測
- 人権意識の高まりを背景に、労働の「質」への高い関心

人気になっている国はどこか？

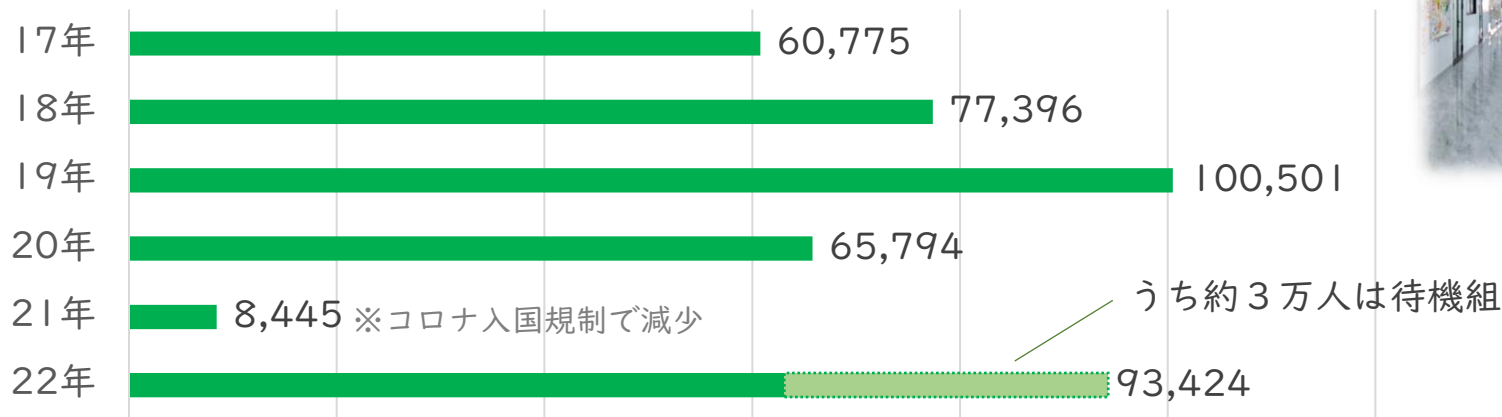


渡航までの待期期間が短く、賃金が一定以上の国が人気となっている

ベトナム人受入れの状況

- ▶ ベトナム人技能実習生の受入れ人数は、コロナ禍以前は増加傾向であったものの、20年度・21年度はコロナ入国規制のため大幅に減少
- ▶ 22年度は、コロナ前の水準となる9万人に対して査証発給。うち3万人は入国規制によって待機していた方々

在ベトナム日本大使館査証発給統計 (外務省統計等を参考に作成)



日本は選ばれなくなっていると聞かすが、日本に何かを求めてくる人はいる

技能実習制度利用の目的

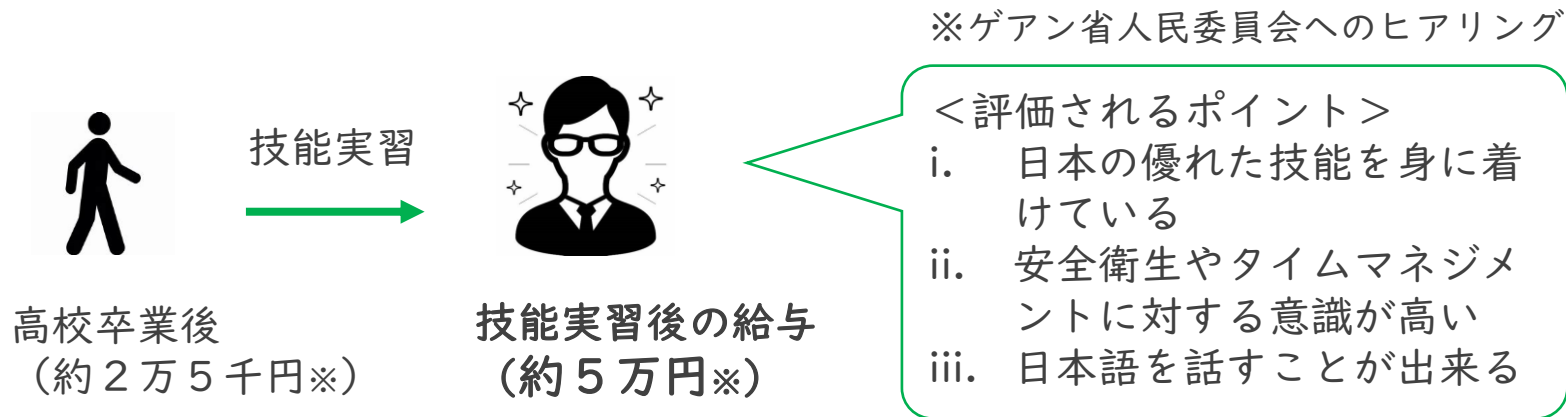
- 制度創設当初の目的は「お金を稼ぐこと」であったものの、現在は「お金を稼ぎながら、異文化を体験する／日本語を学んで、就職する／日本でスキルを学んで成功すること」が多いのではないか
- 学歴社会といわれるベトナムにおいて、スキルや日本語を身に付けて大卒者に並びたいという考えもあるのではないか
- 技能実習生候補者との意見交換では、「日本の文化を知りたい」「（後々）留学したい」「自分の飲食店を持つため、安全衛生を学びたい」との意見があった



単にお金を稼ぐという目的ではなく、今後のキャリアや人生を豊かにするために、技能実習制度を活用している

ベトナム帰国後の活躍

- 技能実習後、日本で学んだスキルやマインドセットが評価され給与が上がる。工場管理者からも生産性が高い人材として評価される。台湾や韓国等で就労し、帰国したベトナム人については、実習生同様には評価されない
- また技能実習生を3年終えた後、100万円から200万円の貯金ができる。それを元手に起業する元実習生もいる



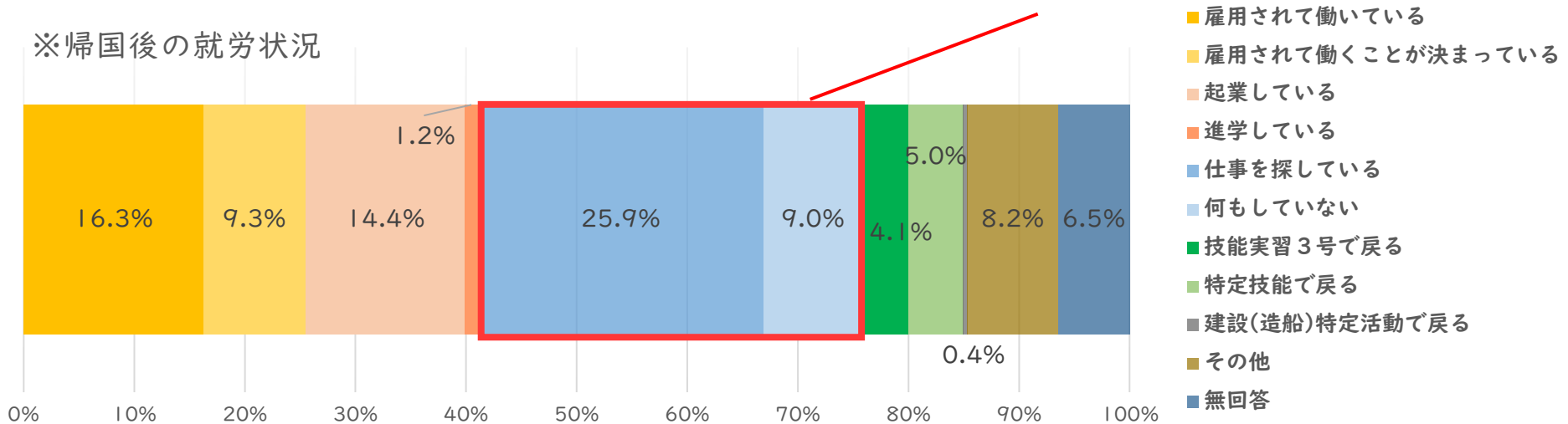
技能実習で身につけたスキルや経験、財産は、ベトナム帰国後に新たな人生を切り開くきっかけとなっている

今後の課題 ①ベトナム国内

- 帰国後、送出し機関や行政機関によってジョブマッチングの機会を設けているものの、求人がなく、必ずしも実習時と同一の業種で就職することは難しい状況。また故郷に仕事がないため、別の省で働く人もいる。
- 日本語能力を活かして、通訳やガイド、送出し機関のスタッフとして働く人も一定数いる

帰国後技能実習生フォローアップ調査（2021年実施）

※帰国後の就労状況



（「技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議」資料を参考に作成）



技能実習で身に着けたスキル等が、帰国後、更に活かすことが出来るよう、ジョブマッチングの拡充や現地日系企業への雇用インセンティブ措置等が必要。また、実習生の主な出身地域である地方では、農業をはじめ主要産業に対してODAを実施し産業振興を図ることも重要（働く場所の創出）

今後の課題 ②日本国内

- まずもって、人権問題を発生させる制度自体の問題是正や運用面での取り締まり強化が肝要
- そのうえで、技能実習生には自己成長のため様々なことに取り組みたいという思いがある一方、借金返済をはじめとする制約がある
- また日本語能力の不足は、日本人との十分なコミュニケーションが図れず、受入れ企業での役割発揮や地域社会との統合を阻害し、外国人にとっても成長の実感を得られにくくなる要因となるのではないか



技能実習生の挑戦を後押しするよう、企業支援の在り方の検討（手数料負担、日本語を含む生活支援および教育、スキル形成、自己啓発の時間や金銭的補助等）および優良支援企業へのインセンティブ措置（手続きの簡便化や受入れ審査期間の短縮等）を検討すべき。

- 課題は複雑である一方、変化の兆しも見えている（手数料ゼロに向けたJP-MIRAIやベトナム国内の動き／日本国際親善協会（JIFA）等）
- 各ステークホルダーが出来ることを、着実に進めることが求められている

起業支援プログラム

ドンズーモイ

それは人生の起業です



短大・大卒者

ハイフォン株式会社
6ヶ月

日本
3~5年間

ベトナム

発想
+
知識

オリエンテーション
+
技能

経験
+
日本語

人生資金
+
起業

将来

以上、ありがとうございました